

2014 年度千葉県支部総会一報告

場所：千葉市生涯学習センター

日時：2014 年 4 月 19 日

総会：13:30～14:30

講演会：15:00～16:30

総会

2014 年度支部総会が、来賓として工業会本部から中島副理事長を記念講演会に理工学部から宝田教授を迎えて出席会員 18 名で開催された。

開会に当り、島瀬省三支部長（37C）より挨拶があり、支部会員の支部運営協力への感謝、創立 100 周年記念事業への協力が表明された。

その後、諏訪原俊一氏（46K）を司会として、山田悦夫氏（37C）を議長に、斎藤尚樹氏（修 53L）を書記として選出して議事に入り、増田善一副支部長・総務担当（49P）より 2013 年度の事業報告を、引き続いて、橋爪準一会計担当（57W）より収支決算報告がそれぞれ総会資料に基づいて行われた。

高橋正明監査役（39C）より収支決算について適正かつ記録が極めて判り易く整理されていたとの監査報告がなされた後、全会一致で報告通り承認された。

引き続き副支部長より 2014 年度の事業計画案が、会計担当より予算案がそれぞれ総会資料に沿って提案された。副支部長から会員相互の親睦として、ゴルフ同好会と囲碁同好会の継続の他、更に機会を増やしてゆきたいので会員よりの提案を期待している旨の説明があり、両案とも全員の賛同で決定された。

議事終了後、中島副理事長から、来年度に迫った 100 周年記念事業の募金の状況、記念事業内容の検討等、大学側と 5 つの委員会を設立して意思疎通を図りながら取り組んでいる現状、会員名簿整理への取組状況、財政状況と会費制度の見直し、その他、支部への協力依頼等も含めながら工業会本部の活動近況を紹介頂いた。

総会終了後、宝田教授に記念講演（次ページで紹介）をして頂いて閉会し、会場併設のレストランへ移動し懇親会を行った。



開会挨拶



事業報告中の会場風景



決算報告



来賓挨拶



記念講演



前列左から、小関 (36C)、山田 (37C)、中島副理事長、宝田教授、島瀬 (37C)、岸 (32E)、増田 (49P)

後列左から、久保田 (40E)、斎藤 (53L 修)、武田 (35C)、平嶋 (60TM)、箕浦 (39D)、橋爪 (57W)、楠原 (45E)、寺本 (44W)、細野 (37C)、富田 (36C)、根立 (40C)、高橋 (39C)、諏訪原 (46K)

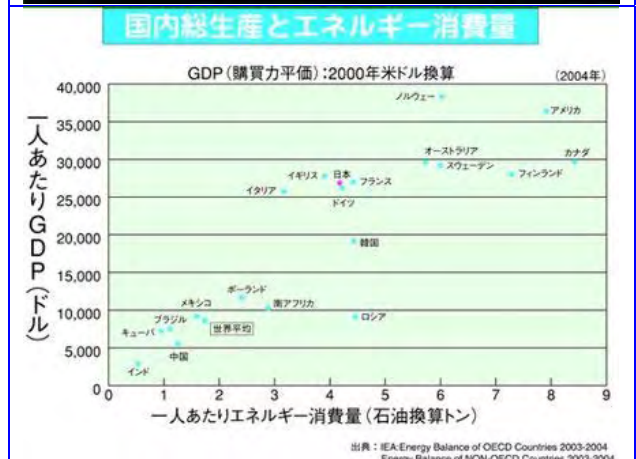
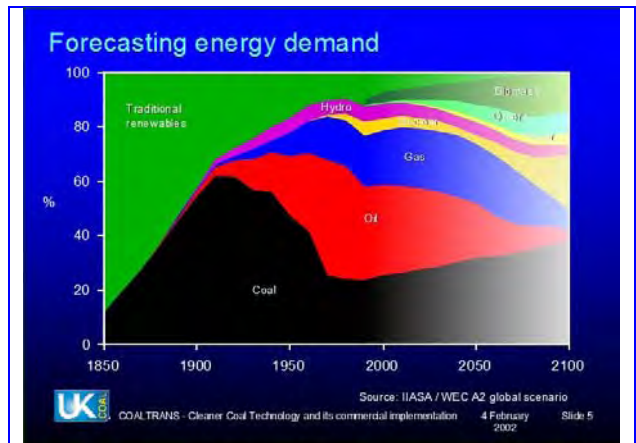
講演会

「地域力による脱温暖化と未来の街・桐生の構築 (そのⅢ) -未来創生塾の立ち上げとその成果-」
 宝田 恭之 (群馬大学理工学研究院教授)
 小島 由美 (同未来創生塾主担当)

演題にある通り、宝田教授による 3 回目の講演であった。おりしも IPCC 横浜会議の終了後であり、世界のエネルギー消費や CO2 排出量について過去、現在そして未来予測を含めて地球規模のお話を頂いた後、演題プロジェクトに関するこれまでの成果と現状について詳しく講演頂いた。以下に概要を紹介いたします。

低炭素型交通システムとして、低速電動バスとマイクロ EV の開発をした。開発に当っては地元産業の最大限の協力を得て成果を上げることができた。出来上がった製品については桐生での実証試験および各地での試用の結果高い評価を得て、実用としての発注もあり、協力してくれた地元産業に貢献できている。

地域との共生を目標に産・官・学・民協働で魅力ある街づくりに取り組んでいる。取り組みに当っては如何に桐生地域の特性を生かして、魅力ある街を作り上げるかが最大のポイントであり、竹垣プロジェクト等により本町の活性化に成果を上げている。



昨年、未来を担う子供達に楽しい社会生活とは何か

を体験を通して主体的に考えてもらい、感性を育てることを目標として小学生を募集し未来創生塾を立ち上げた。

身近にある桐生の自然、歴史、文化、産業等を体験的に学習して郷土の良さや本物志向の感性を得ることに、大変な好評を得ている。今年度で終了予定だが継続希望が多いので今後の継続を検討中である。

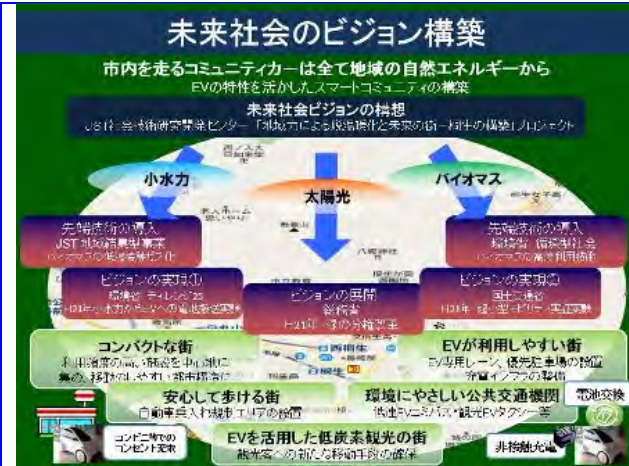
以上、脱地球温暖化の難しさ、質の高いかつ楽しい社会とは何か示唆に富む講演でした。

教授の今後の活躍を期待します。

研究開発の目標

マイカーへの依存度の高い都市・生活形態を見直し、徒歩や自転車、EV等の導入と自然エネルギー利用(小水力・バイオマス等)による低炭素型交通システムの導入の社会実験等を通じて、以下の検証を行う。

- ①脱温暖化が地域の抱える多様な課題の解決と結びつくことを地域住民とともに共有する。
- ②定量性のあるCO₂削減と同時に、地域の活性化や暮らしやすい持続型の街づくりを進める主体形成を含む社会技術的かつ総合的アプローチ方法を開発する。
- ③地域の力を結集した実証試験を通してその効果を検証する。



4. 研究開発の内容 (1-1省エネ技術・低速電動バス開発)

低速電動バスの特徴

太陽光発電で走行距離アップ | 時速19kmで走行

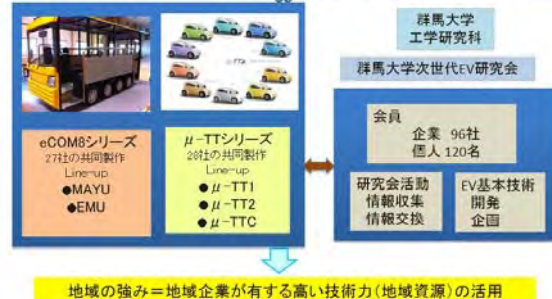
解放感たっぷり | バッテリーは交換可能 | 小さなタイヤ、低い床 | 小さな車体、全幅1.85m | シートは対面ベンチ

適正技術による合理的開発

- どこでも乗り降り。
- 自然エネルギーの恩恵たっぷり。
- 地域のニーズに合致。
- エコリズムの安心感。
- 人と人とのふれあい。

4. 研究開発の内容 (1-1省エネ技術・マイクロEV開発)

地域企業との共同による低速電動バスとマイクロEVの開

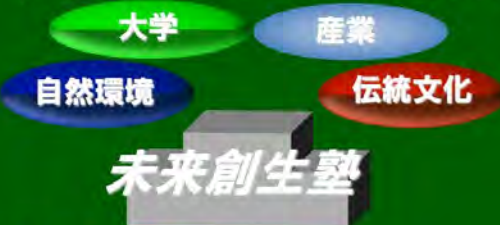


09' 本町五丁目交差点竹垣作品紹介

作者 (社)群馬県造園緑化協会・桐生支部 / 竜安寺垣



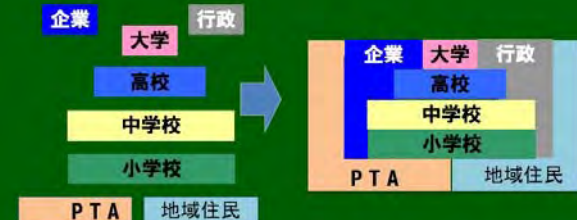
【未来創生塾】—未来社会100年計画—



[教育の三本柱] push型教育からpush+pull型教育

●夢の発見 ●夢の実現 ●未来の創生

- [特徴]
- 感性を育み、楽しい未来社会を構築するための人材育成
 - 桐生市、大学、市民、企業による地域あげでの総合教育
 - 単なるイベントではない年間を通じてのカリキュラム
 - 大人に知識を、子供に感動を！！

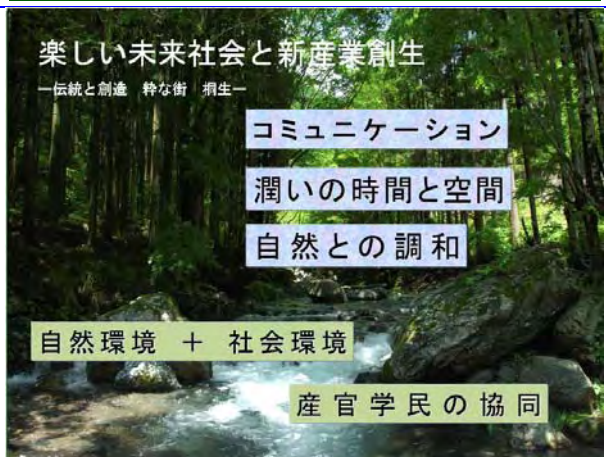


従来型:それぞれが独立、関連が極めて薄い。

未来創生塾:感性豊かな人材育成を緊密に連携した地域全体が担う。



- ### 未来創生塾活動内容
- わが街発見！文化編：桐生の伝統的文化に触れ、郷土の心を認識する。
 - わが街発見！歴史編：桐生の歴史に触れ、郷土の魅力を再発見する。
 - わが街発見！産業編：地元企業の見学を行い、魅力ある地元企業を紹介する。
 - わが街体験！自然編：桐生の持つ資源を活用し、感性を育む。
 - わが街体験！工学編：実験や工作などを通して工学の持つ魅力を体験する。
 - わが街体験！芸術編：染織、絵画、陶芸を通して、未来社会に必要な感性を育む。
 - わが街体験！国際編：留学生と一緒に活動し、国際感覚を体験する。
 - わが街体験！世界編：地元関連の外国研修を実施、国際感覚を身につける。



懇親会

恒例の懇親会は、来賓の中島工業会副理事長と宝田教授を囲んでなごやかな語らいの中、初参加の楠原氏の自己紹介も含めて制限時間一杯の盛り上がりで終了、再会を約して解散しました。



(報告、久保田昇 40E)